

ひびき

教育目標：「なかよく かしこく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H30. 4. 28

「頑張る心」がたくさんみえた4月

校長 橋 明夫

本日は、授業参観、PTA総会、学年懇談会への多数の参加ありがとうございました。子どもたちの姿はいかがだったでしょうか。この1ヶ月、とてもやる気に満ちあふれ、前向きに頑張ろうとする意欲がたくさん見られました。良いスタートができたと思っています。

先週、1年生を迎える会がありました。

各学年が、1年生に向けてメッセージと歌を披露しました。

「心を込めた準備」「心を示す姿と発表」は、1年生にとって、安心、元気、勇気がもらえたのではと思います。子どもたちは、最大限に心を遣ってくれているなど感じ、温かな一時を過ごすことができました。

学校は、仲間との関わりの中で、その温かさや時に起こるトラブルを通して、経験を積み重ね、「ひとりだち」のための財産をたくさん心に残していく場だと思っています。新1年生の子どもたちにとって、緊張の中、とても素晴らしい温かな出会いの会になりました。

また前期委員長の任命式も行いました。6年生がいよいよ全校のリーダーとして日常活動で活躍してくれることと思います。どの委員長からもやる気と本気さが伝わる決意を語ってくれました。心地よい緊張感と共に、自分を磨こうと頑張っている姿が見られた4月。共栄小教職員一同このまま素直に成長させたいと強く願っています。

話を聞くことが多い今、いすにきちんと座り、担任の先生の顔をきちんと見つめ話をうなずきながら聞き入る姿が印象的です。しかし、頑張る事が多い今、緊張感と自分を磨こうとする決意の中で、きちんとしている時のその子はもしかすると「良い子でいなきゃ、、、」という気持ちで気をはり続けているのかもしれない。5月病という言葉があるように、4月に頑張りが過ぎてエネルギー切れを起こしたり、仲間と自分の差を感じて落ち込んでしまったり、連休の過ごし方で生活リズムを崩してしまったりといったことが起こりがちになります。家では、ぜひほっとさせてあげて欲しいと思っています。



「素敵だね、頑張ってるね、疲れたでしょ？」この一言をご家庭でかけてあげてください。きっと子どもたちの大きなエネルギーにつながります。頑張りの気持ちで一杯の胸が張り裂けないように、大人である私たちがほどよく息を抜いてあげながら、一歩ずつ前へ進めてやりたいと考えています。

